

# インドネシア・スマトラ島における 対流活動の日周期と階層性について

柴垣 佳明<sup>1</sup>・古津 年章<sup>2</sup>・下舞 豊志<sup>2</sup>・

森 修一<sup>3</sup>・村田 文絵<sup>4</sup>・藤吉 康志<sup>5</sup>・

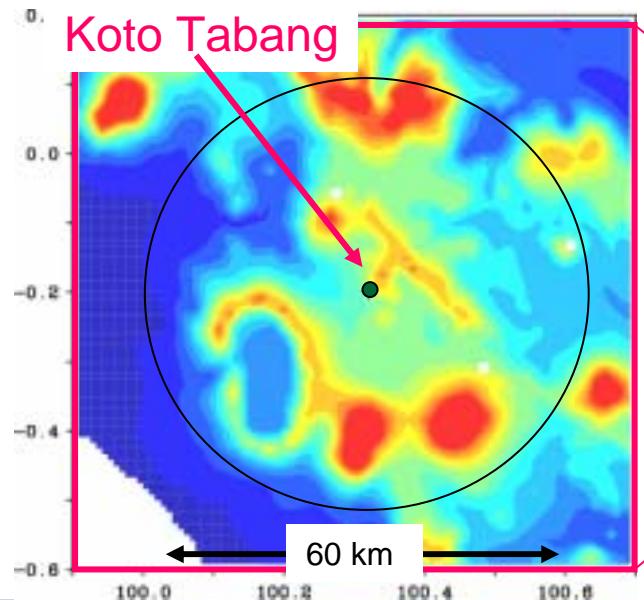
橋口 浩之<sup>6</sup>・山本真之<sup>6</sup>・古本 淳一<sup>6</sup>・深尾 昌一郎<sup>6</sup>

1. 大阪電通大, 2. 島根大, 3. IORG, 4. 地球研, 5. 北大低温研 6. 京大RISH

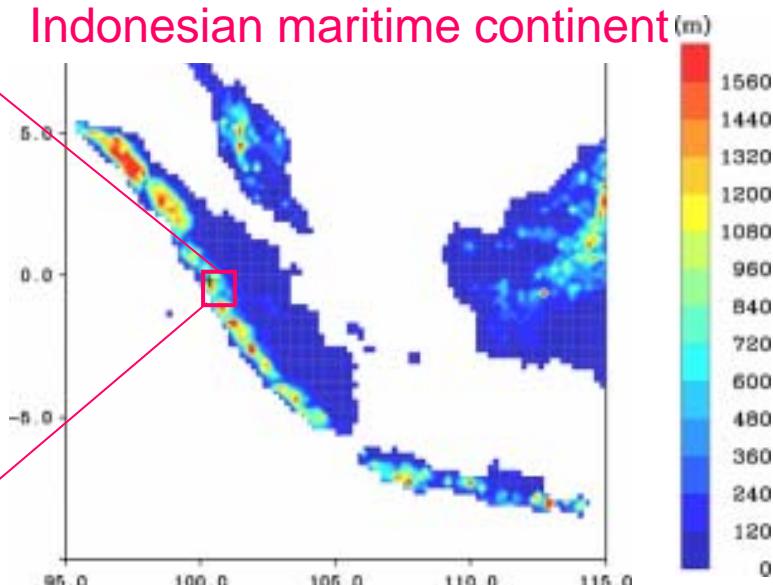
# Equatorial Atmosphere Radar

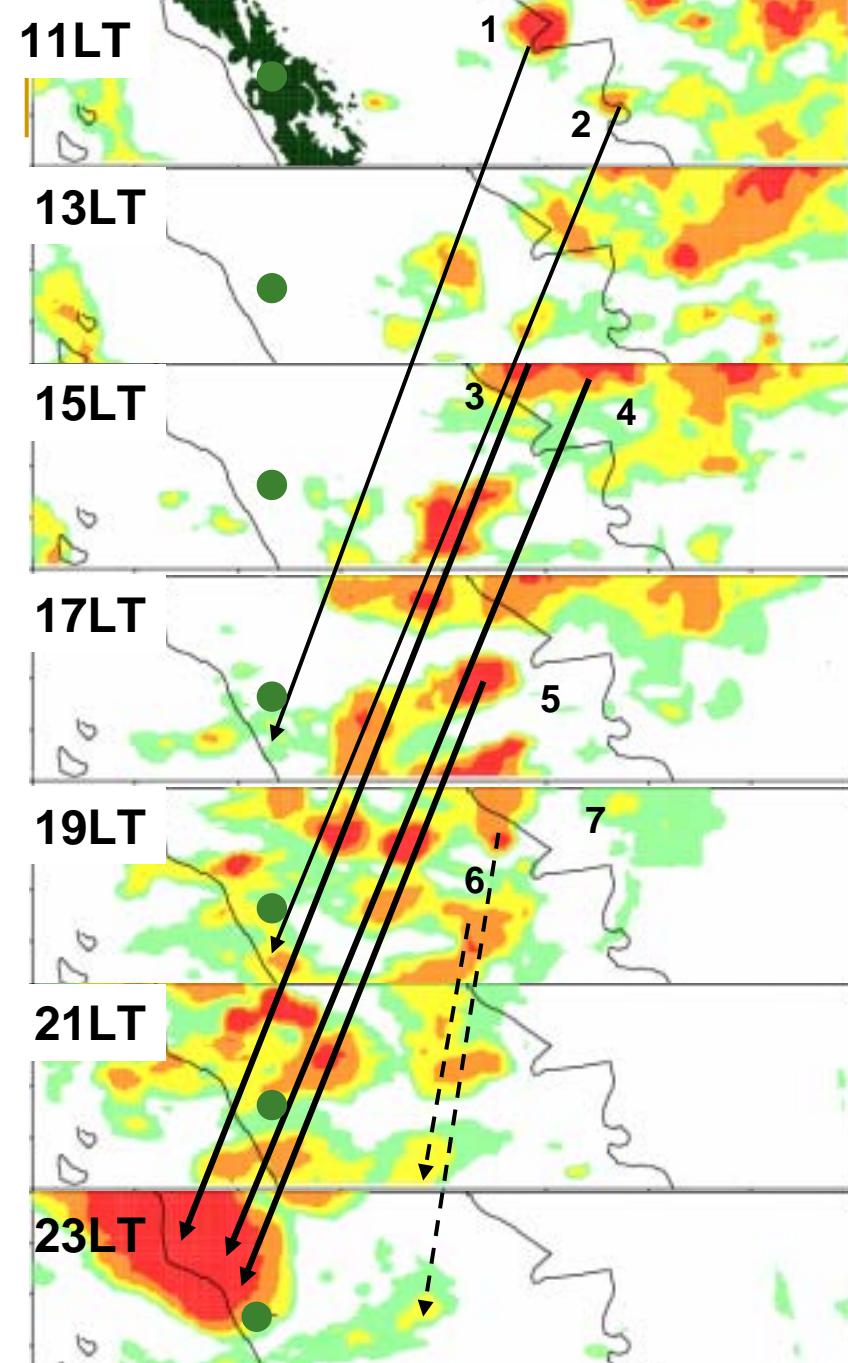


(100.32E, 0.20S)



Indonesian maritime continent





## スマトラでのM CC構造の特徴

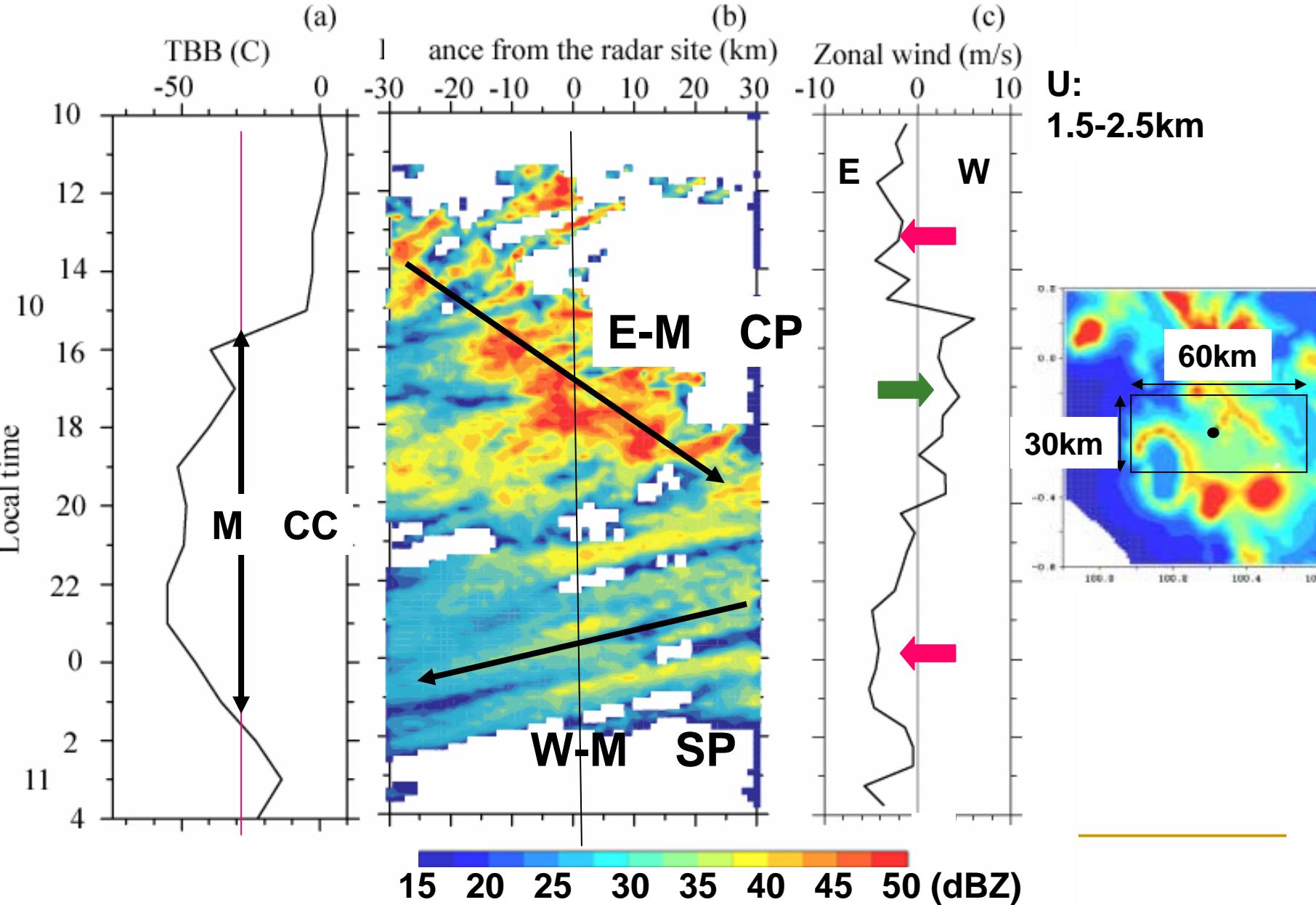
スマトラ東岸で連続的にM CCが形成

1-2: スマトラ西岸まで移動

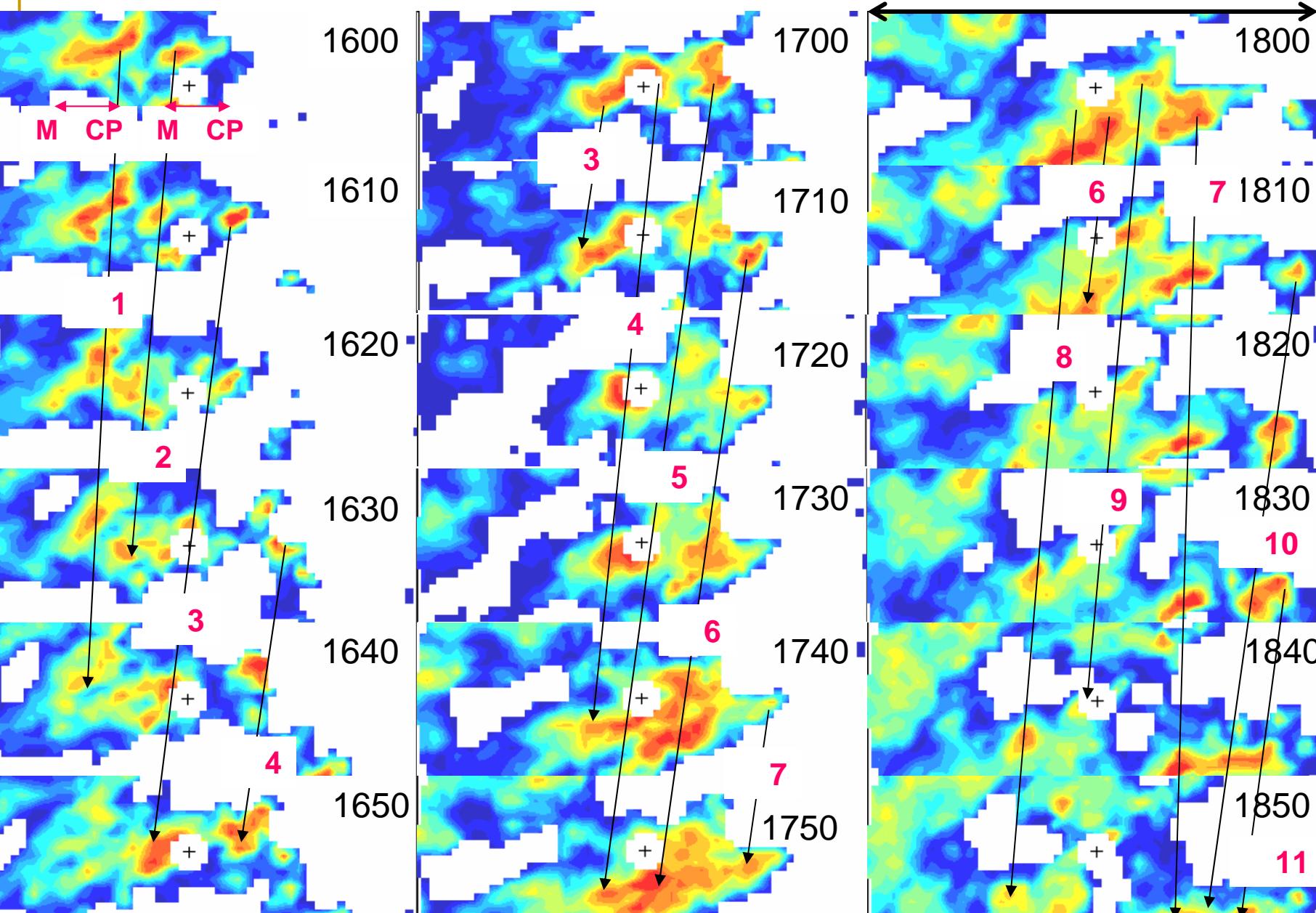
3-5: スマトラ山脈の 雲システムと合流  
地形性雲システムの形成

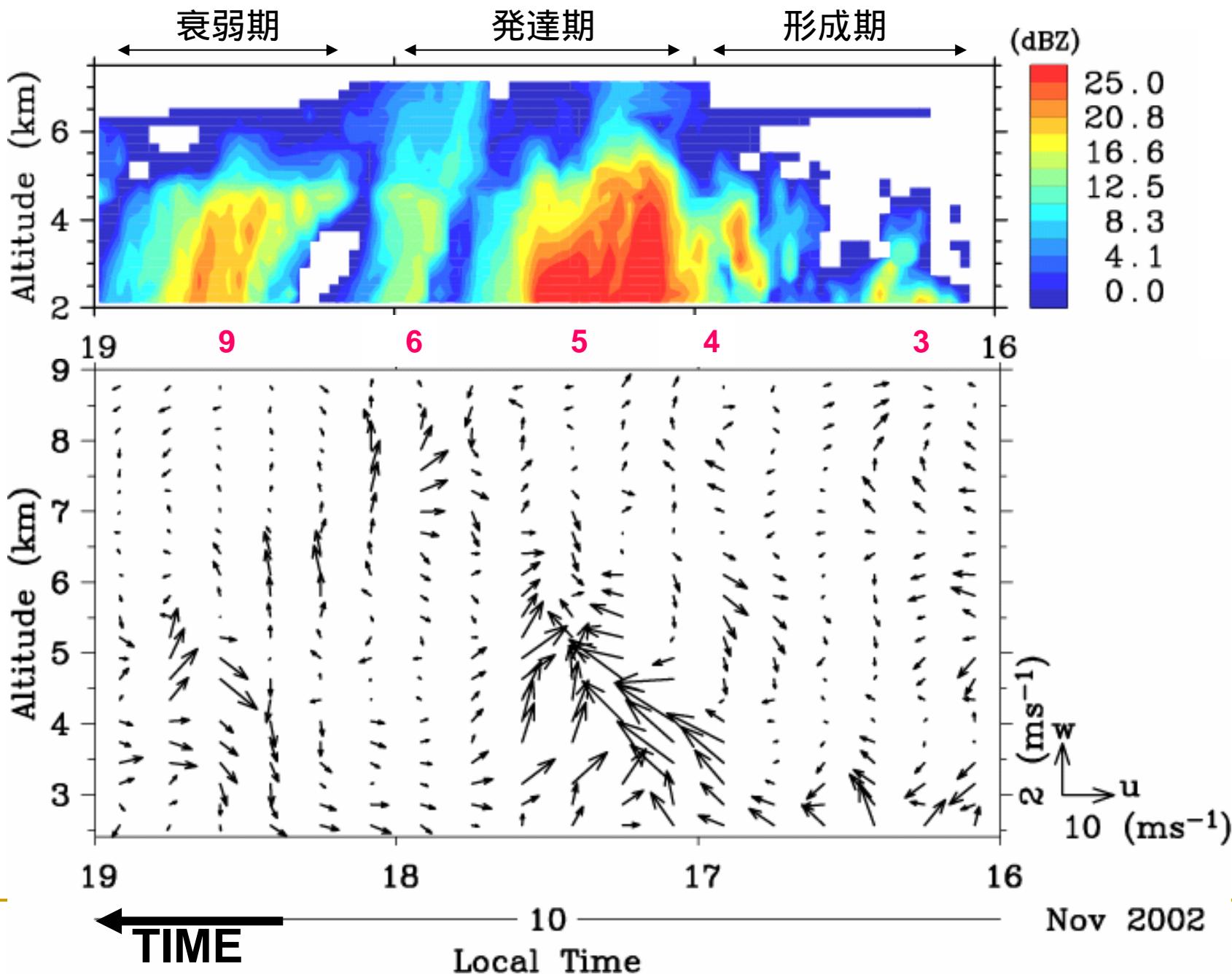
6-7: スマトラ内陸で衰弱

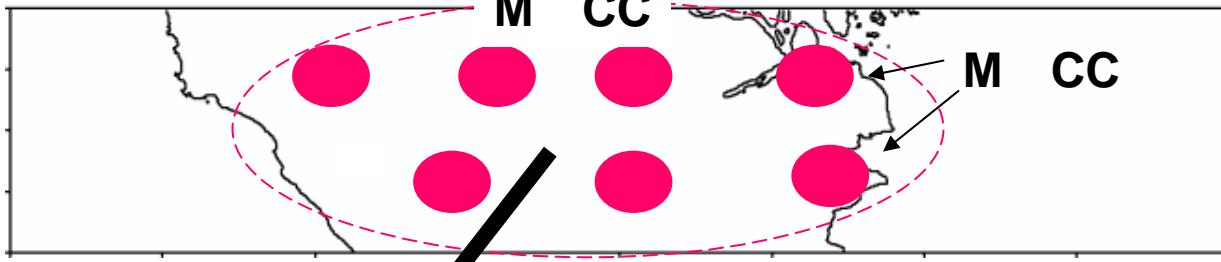
# M CCの変移に伴う降水システムの特徴



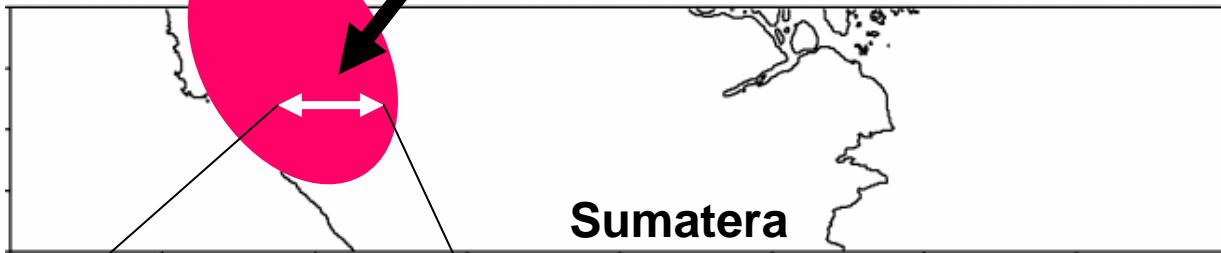
# E-M CPの微細構造







## MCCsから組織化された雲システム



# 地形性雲システム

